

報道関係者 各位

2022年10月13日

**終活を動画でわかりやすく解説!! シリーズ第三弾が公開  
実行したくなるエンディングノートの書き方をアドバイス  
『豊かな未来につながる みんなの終活ガイド ~エンディングノート~』**

公益社などの葬儀社を傘下に持ち、終活から葬儀後までのライフエンディングのトータルサポートを提供する、燦ホールディングス株式会社(東京本社:東京都港区、大阪本社:大阪市北区、代表取締役社長:播島聡)は、終活をわかりやすく紹介する動画『豊かな未来につながる みんなの終活ガイド』の第三弾 “エンディングノート”編を公開しました。



動画は過去の公開同様に「益田ファミリー」が、生活者の抱えている終活の疑問、不安などを代弁していきます。今回のテーマは“エンディングノート”。燦ホールディングスが2022年3月に実施した「終活」に関する意識調査※によると、「終活」でやることのイメージとして、上位に入る「エンディングノート」ですが、その高い認知度とは逆に、「既書いている」人は5%と低い回答でした。ただ、「書いてみたいと思っている」人は、53%存在し、関心度が高いのも分かります。

今回の動画では、高い認知度と関心度がありながら、実際の行動に至らない要因と、豊かな未来につながるエンディングノートの書き方や、書ききっかけを実例を交え、終活カウンセラーがアドバイスしていきます。

※「終活」に関する意識調査リリース <https://www.san-hd.co.jp/files/news/other/20220705.pdf>

<動画のストーリー紹介>



エンディングノートに興味がある 母 益田公子さん



長女 愛さん 52才も興味をもっていた



エンディングノートについてアドバイスする終活カウンセラー



気楽に考えられるようになった 母 公子さんと、愛さん

『豊かな未来につながるみんなの終活ガイド ～エンディングノート～』

<https://youtu.be/XCkL6935Ogo>

▼終活に関する無料の相談窓口「終活あんしんよろず相談ダイヤル」

[https://www.eranda.jp/shukatu\\_yorozu](https://www.eranda.jp/shukatu_yorozu)

<燦ホールディングスとは>

1932年に「株式会社 公益社」として創業、2004年持株会社制への移行に伴い、燦ホールディングスに商号変更。グループには「株式会社 公益社」（持株会社制への移行時に会社分割により新設）、「株式会社 葬仙」、「株式会社 タルイ」の葬祭事業3社および葬祭サービスに必要な機能を提供する「エクセル・サポート・サービス株式会社」、ライフエンディングサービスのポータルサイトを運営する「ライフフォワード株式会社」から成り、葬儀を中心としたライフエンディングサポート事業を展開しています。1994年に葬儀会社として初めて株式を上場（当時の大証新二部）。現在は東証プライムに上場しています。

【燦ホールディングスグループ】

- ・燦ホールディングス株式会社 <https://www.san-hd.co.jp/>
- ・株式会社葬仙 <https://www.sousen.co.jp/>
- ・ライフフォワード株式会社 <https://life-forward.co.jp/> <https://www.eranda.jp/>
- ・株式会社公益社 <https://www.koekisha.co.jp/>
- ・株式会社タルイ <https://www.tarui365.co.jp/>

<本件に関するお問合せ先>

燦ホールディングス株式会社 / 株式会社公益社  
広報代理 (株)インテグレートコミュニケーションズ

担当: 村山 (amurayama@integrate-com.co.jp)、TEL:03-5464-2046 FAX:03-5464-2076